

いろいろな土の姿を見て、触れて、誰よりも防災スキルを高めてみよう

2025年8月7日（木）に、豊田工業高等専門学校において、環境都市工学科の教員及び技術職員、学生による公開講座「いろいろな土の姿を見て、触れて、誰よりも防災スキルを高めてみよう」が開催されました。

本講座は、中学生を対象とした講座で、最初に自分たちの身近な災害について、グループで意見交換することから始めました。その後、土の粒で構成される地盤をイメージしていくために、積み木のKAPLAを使用して建物を作ってもらい、出来上がった建物を安定させるためにどんな工夫が必要なのか考えてもらいました。これを地盤の災害についての学習の導入としました。続いて、砂や粘土、普段よく目にする土の3種類の土を用意し、これらに水を加えたり、団子を作ったり、実際に触れることで土の特性を理解してもらい、それぞれの特性によって起きる地盤災害を学んでもらいました。最後に、液状化実験を皆で体験してこの講座は終わりました。

身近な災害を書き出す作業や積み木での工作、色々な土を使った実験には環境都市工学科の5年生および建設工学専攻の1年生、2年生にお手伝いしてもらいました。受講者と一緒に参加されている保護者の方々には、本校での学びによって獲得できる将来像を感じる事ができたと思います。

本講座は大変人気のある講座で、今年も定員を超えるたくさんの応募があり、残念ながらすべての申し込み者に受講していただくことはできませんでした。申し訳ありませんでした。次回のご応募をお待ちしております。



自然災害について議論



KAPLA で作った塔



土に触れて、知る